

## 令和 5 年度 新宿区地域公共交通会議 第 1 回（議事概要）

## 1 日 時

令和 5 年 6 月 2 0 日（火） 9 時 3 0 分～ 1 1 時 3 0 分

## 2 場 所

新宿区立教育センター 5 階 中研修室

## 3 議 題

## (1) 新宿区地域公共交通会議設置要綱の改正について

- 事務局より資料 2 を用いて説明を行った。

## (2) 会長・副会長の選任について

- 鈴木委員が会長に、牧村委員が副会長に選任された。

## (3) 新宿駅西口における新宿 WE バスの停留所廃止及び新設、運行経路変更について

- 事務局より資料 4 を用いて説明を行った。

## (4) 新しい地域交通の導入に向けた検討について

- 事務局より資料 3、資料 5 - 1 ~ 4、資料 6 を用いて説明を行った。

(質疑応答)

質 疑① 今回の会議で議決することは、新しい地域交通の導入に向けた検討の議論を行う場として分科会を設置するということであって、具体的な内容について議決する訳ではない、ということで良いか。

事務局応答① そのとおりである。具体的な内容は、分科会で検討していく。

質 疑② 分科会では AI オンデマンド交通にするかどうかということも含めて、色々な交通の選択肢について検討をするということか。

事務局応答② まずは AI オンデマンド交通を中心に議論を進めたいが、その他にも新たな技術や方法についての話も頂きながら、検討を進めたいと考えている。

質 疑③ 新たな交通を導入することへの需要があるのか、採算性は確保できるのかという懸念があり、また、他自治体の事例を考えると、対象者が高齢者や障害者であるならば、タクシー券の配布等他の方法の方が良いのではないか。

事務局応答③ AI オンデマンド交通しか検討しないというわけではないが、区としてはタワーマンションの増加により子育て世帯が増加しているという状況等もあり、移動の選択肢を増やすために、AI オンデマンド交通というデジタル技術に注目している。今後採算性も含めて、活発な議論をさせてほしい。

質 疑④ 資料 5 - 3 を見ると、必要とする地域が狭く、事業の採算性が合わない懸念がある。区内はタクシーが充実しており、ドライバーの担い手が減少していることもふまえると、新しい交通を増やすよりも、既存交通を活かす検討をした方が良いのではないか。また、主体が民間事業者ならば、リスクを背

負う事業者に運行期間や運賃等についての裁量がある程度認める必要がある。民間事業者を圧迫するだけで終わる結果にならないようにしてほしい。

事務局応答④ 今回の資料は、あくまで検討のための参考資料であり、導入エリア等については今後分科会で検討していきたい。また、最初の分科会では他自治体での事例を情報提供したいと思っている。また、区としても採算性の確保は非常に重要視している。民間事業者が新たな事業として将来性を考えることができるよう、皆様の意見を頂きながら協議を進めていきたい。

質 疑⑤ ハイヤー・タクシーの労働組合組織も次回以降委員として入れてほしい。

事務局応答⑤ ぜひ検討したい。地域の利便性向上や活性化につながる移動の主な需要は日中であることや、運行エリアが限定されるため、A I オンデマンド交通の運行形式とマッチし、労働環境の改善につながるのではないかと期待している。このため、労働環境の改善という視点でも議論をさせて頂きたい。

質 疑⑥ 目的の明確化のために、対象者は誰か、どの施設間の移動が不便か等、区内で交通が不便だと思われる事例について具体的に教えてほしい。特に民間事業者にとって採算性は重要なので、導入の方向性がより明確である必要があると思う。

事務局応答⑥ 導入目的は、高齢者の外出促進や子育て世帯の移動支援をするとともに、坂道が多い地域や施設間の距離があるため移動が不便であるというような移動の格差を解消していきたいと考えている。しかし、それ以外の障害者や若者にも使ってもらいたいため、対象者は一部の人ではなく、全ての人を対象としたい。施設間の移動については、例えば運動施設が幹線通り沿いに集中しているようなことがあるため、施設自体は駅やバス停から近いものの、駅やバス停の近くに住んでいない人からすると通いづらいという声がある。また、最近は銭湯が少なくなっており、銭湯に通うための移動手段がほしいという声も聞いている。こうしたことから、新しい地域交通の導入にあたっては、駅やバス停との結節点をつくる等していきたいと考えている。

質 疑⑦ 移動が不便な施設間をつなぐ新たな移動経路をつくるというイメージか。

事務局応答⑦ 経路だと1本のラインになってしまい、一定のエリア全体の移動の利便性向上に繋がらないため、一定のエリア全体の利便性向上などが解決できるように考えていきたい。

質 疑⑧ 分科会での事例紹介では、山間部ではなく都市部の事例が知りたい。また、うまくいっている事例だけでなく、うまくいかなかった事例も教えてほしい。

事務局応答⑧ ご意見にある事例を学識経験者と相談しながら収集して共有したい。

質 疑⑨ 資料5-2に4エリアが示されているが、この全てのエリアを対象とするのか、それとも一部エリアを対象とするのか。

事務局応答⑨ あくまでバス停から300m離れた地域であり、そのエリアに限定する考えはない。現時点ではエリア選定におけるフィルターはかけていない。

質 疑⑩ 導入したエリアの区民をどこに運ぶか、今後の検討では議論してほしい。

事務局応答⑩ 導入エリアが今後決まったら、そのエリアの住民や既存路線の競合等も考慮しながら協議を進めていきたい。

質 疑⑪ 運行時間帯の検討にあたって、来年4月に運転手の1日の拘束時間や休憩時間の規制が厳しくなるため、そのあたりも考慮してほしい。

事務局応答⑪ 労働環境の改善にもつながるよう、配慮していきたい。

質 疑⑫ 資料6の委員は最終決定ではなく、これをベースにして、必要に応じて委員を追加するという認識で良いか。

事務局応答⑫ そのとおりである。

#### 4 議決結果

- 議題（1）（2）（3）（4）についてそれぞれ議決を行い、原案どおり全会一致で了承された。